

人のために豊かさや便利さを提供する土木を、生活のなかに浸透させていくこと。
「DOBOKU×カルチャー」では、私たちと土木の距離を縮めてくれる、そんなコンテンツを紹介します。

第十三回

『カプセルトイ』

土木をモチーフにしたいろいろなカプセルトイ。リアルなもの、組み立て式でつなぎ目が可動するもの、かわいいものなど、バリエーションは幅広い。



何が出るかわからないという不確かな体験が、大人をも虜にさせている。大人をターゲットにした商品も数多く取り扱われるようになり、ショッピングモールやアミューズメント施設、またまた専門店まで登場している。アニメや鉄道といったマニア向けの

「ガチャガチャ」や「ガチャポン」の愛称で知られているカプセルトイ。小型自動販売機に硬貨を入れてレバーを回すと、カプセルに入ったおもちゃが取り出し口から顔を出す。かつては駄菓子屋やスーパーマーケットの店先に置かれていて、カプセルの中身といえば子ども向けのキャラクターのフィギュアが主流だった。しかし、今ではこのインスタントで、

観光地や空港に設置され、日本のみならず世界にも知られているカプセルトイだが、実は土木関連の商品が発売されているのをご存じだろうか。その筆頭格として販売されているのが、ダムブームの波に乗って生まれたダム関連のフィギュアである。黒部ダムの観光放水や建設中の様子をリアルに再現しているフィギュアには、ダムカードを精巧に再現したミニチュアのプレートも付いている。また、全国各地のダムで親しまれているダムカレーのミニチュア版も登場している。

ものだけではなく、昭和の時代に使われた電化製品やポストなど懐かしさを誘うアイテムや、食品やゲーム機など多くの人になじみのある商品のミニチュア版なども作られている。カプセルトイから人気が出たキャラクターもある。今や新作数百種類が発売されては消えていくという群雄割拠の時代に突入している。



精巧な作りのダムカレーのミニチュアは、当時テレビで取り上げられるなど、話題となった。左は2017年発売の「ダムカレーガチャコレクション」より新豊根ダム、右は2019年発売の「立体カプセル百科事典黒部ダム図鑑」より黒部ダムのダムカレー。

PICKUP! DOBOKU×カルチャー

NHK「解体キングダム」続編放送決定!!

本誌の第78号(2019年7月号)でご紹介した、NHKの番組で「解体」をテーマとした「解体キングダム」の第5回が放送されることが決定しました。前回までは比較的ライトでバラエティ色が強く、幅広い方々に見てもらった内容でしたが、今回はもう少し大人向けの内容とのこと。土木とは切っても切り離せない「解体」という現場を、この番組で覗いてみてはいかがでしょうか。



4/18(土) 夜10:30~11:30 BSプレミアム
<出演> 城島茂・伊野尾慧

最近では、土木業界で働く人たちの作業風景をかわいらしい動物のキャラクターで表現したり、重機や工具のミニチュア版を販売したりするなど、パリエーションも増え始めている。誘導員や現場監督などがヘルメットをかぶっている姿が何ともかわいらしい。中には、販売してすぐに売り切れてしまうヒット商品も生まれている。案外多くの人がカプセルトイを通じて土木を身近に感じているのかもしれない。とはいえ、カプセルトイ業界全体の中ではまだまだ多いとはいえない土木関連の商品。宝探しをするような感覚で販売店を探してみてもいいかがだろうか。きつと童心に帰ってワクワク感を味わうことができるだろう。コレクション熱に火がついて気付いたら数千円使っていた…なんてことになるかも。